

図書館だより

島根県の人口はなぜ減ったか

山陰中央新報社
論説副主幹 長野忠

私どもの島根県の人口は、平成2年の国勢調査で78万1千人。5年前と比べて1万3千人、1.7%も減った。本県の人口減は何も今に始まることではなく、特に昭和30年代からこっち、国勢調査の度に4%から多い時は8%近くも減っていたのだから、1%や2%でガタガタすることはないともいえるが、しかし今度の減り方は30年前とはいささか様相を異にしているらしい。

かつてはいずれ帰って来る可能性を残した出稼ぎ型が多くたが（実際にはあまり帰って来なかつたが）、最近は高校を卒業した若年層の県外への進学、あるいは就職と、高齢者の死亡が人口減の原因の大半を占めている。

県外へ出た若者はなかなか帰らない。特に高等教育、あるいは高等技術を身につければつけるほど、田舎には帰って来ない。帰ってもその学識や技術を生かせる職場がないからだ。この年齢層が少なくなれば人

口は再生産されず、高齢化率はますます上昇するとともに、人口は減るという構図ができ上がる。

本県の人口が減った原因は、農業の衰退、拠点都市の未成熟、適応性が必ずしも十分でなかつたこれまでの行政など、いろいろあるが、これら以上に大きいのは、積極性を欠く県民性ではないか。

勤勉で努力家だが、人先に出ることや、リスクを伴うことは御免。ひたすら目立たないようにし、出るやつは足を引っ張るか、頭をたたいて横並びにさせる。一兵卒として使うには申し分ないが、将校には不向き、ましてや将にはさせられない、というのがわが島根県人らしい。

押しも強くないから、つきあうのは楽だ。実は私はこんな肩の凝らない県民性をこよなく愛しているのだが、これでこれからのがんばるサバイバルゲームを生き抜くことは、マンモスが生き残るより難しいことを知らねばなるまい。

茶の湯の本が揃いました

この度、亡くなられた御主人が当館をよく利用なさっていたということで、市内外中原町にお住いの布野美代子様から、次の本を寄贈していただきました。生前、茶道の先生をなさっていたということで、茶の湯関係の本13冊です。

現在当館には茶の湯に関する本が約400冊位ありますが、新しく蔵書に加わった今回の寄贈本を含めて、できるだけ多くの方々に利用していただきたいと思います。

- ◇カラー版茶道歳事記 佐々木三味著
- ◇図録茶道史 林屋辰三郎著
- ◇近世茶道史 谷端昭夫著
- ◇「南方録」を読む 熊倉功夫著
- ◇山上宗二記を読む 筒井紘一著
- ◇茶道文化論集(全2巻) 永島福太郎著
- ◇自慢できる茶室をつくるために
根岸照彦著 (以上淡交社刊)
- ◇茶道の禅機画 西部文淨著
- ◇茶席の禅語 有馬頼底著
- ◇宮休庵入門 千宗屋著
- ◇基本点前 千宗屋著
- ◇棚物と炭点前 千宗守著
(以上主婦の友社刊)

※ 読書講演会の御案内※

演題「古典童話の魅力」

講師 小島 育夫 先生

島根県読書推進運動協議会主催の平成4年度読書普及研修事業（前期）として、読書講演会を開催します。

講師の小島育夫先生は、福音館の古典童話シリーズの編集長として、「西遊記」、「秘密の花園」、「オズの魔法使い」など古典童話の名作の出版に携わってこられた方です。

幾世代にもわたって読み継がれてきた古典童話の魅力を語っていただきます。

日時と会場

10月31日(土)島根県職員会館
11月 1日(日)浜田教育センター
お問い合わせは☎0852-22-5729・30
(島根県立図書館 普及係)、 または
☎0855-23-6785 (西部読書普及センター) まで。



メール制<郵送貸出>の御案内

当館では、遠方の方や体の不自由な方等、図書館を直接利用する事が困難な人達のために「メール制(郵送による貸出)」という制度を設けています。

このメール制の登録者数は、1991年度末現在で400人。去年1年間の郵送貸出冊数は、2,075冊です。

メール制の有効貸出期間は1ヶ月、5冊以内まで。貸出利用図書を選ぶには、もよりの市町村教育委員会や公共図書館、主要

公民館図書室にある、当館蔵書目録や毎月送る新着図書リストを利用して下さい。又直接郵送貸出係でも相談を受けています。

郵送料金は、返送料のみ利用者負担です。また3kg以内は書籍小包料金となるため、割安になります。

図書の貸出を受ける場合は、ハガキ又は電話で、住所、氏名、希望する図書のタイトル等、必要事項を明記し、当館に請求して下さい。

新刊案内

『日本考古学用語辞典』

斎藤 忠著 学生社

本書に収録された用語は、考古学本来のもののほかに服飾語・日用品・調度などの関連語にも及び、約4,495件あります。

また用語の起源・沿革にも触れてあり、専門家のみならず、一般の方々にもご利用いただけると思います。

『美術家索引 日本・東洋篇』

恵光院白編 日外アソシエーツ

本書は、美術家についての情報が載っている資料を探すためのレファレンス事典です。主として近現代の美術家20,500人が収録されています。

利用案内

- ①図書の貸出冊数は一人につき3冊でしたが、平成4年8月1日から5冊以内に変更しました。郵送による図書の貸出も同様、5冊内です。貸出期間は従来通りです。
- ②県の行政機関は8月から完全土曜閉庁になりましたが、図書館は開館しています。
- ③月曜日は休館日のため、レファレンス等の質問照会は開館日にお願いします。
- ④9月から小・中学校の週5日制導入に伴い、子ども室は第二土曜日は午前9時から開きます。

1992—読書週間（第46回）

標 語

「無限の海へ 読書の旅立ち」



行事予定

10月



1 木

2 金

3 土

古文書を読む会(近世)
14:00~16:00

| | | | | | | |
|-----|------------|----------------------------|---------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|----------------------------|
| 4 日 | 5 月 休館日 | 6 火 | 7 水 親子で絵本を読む会 15:00~16:00 | 8 木 万葉集を読む会 14:00~16:00 | 9 金 出雲国風土記を読む会 13:00~15:00 | 10 土 休館日 (体育の日) |
| 11 | 12 休館日 | 13 成人読書会 13:00~15:00 | 14 親子で絵本を読む会 15:00~16:00 | 15 特別休館 10/14~10/23 | 16 | 故郷を読む会 (中世) 13:30~15:30 |
| 18 | 19 休館日 | 20 | 21 親子で絵本を読む会 15:00~16:00 | 22 | 23 | 24 子供読書会 14:00~16:00 |
| 25 | 26 休館日 | 27 | 28 親子で絵本を読む会 15:00~16:00 | 29 | 30 | 31 休館日 |

○館内資料展示…「国際宇宙年によせて」

11月



| | | | | | | |
|-----|---------------------|----------------------------|---------------------------------|------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|
| 1 日 | 2 月 休館日 | 3 火 休館日 (文化の日) | 4 水 親子で絵本を読む会 15:00~16:00 | 5 木 | 6 金 | 7 土 古文書を読む会 (近世) 14:00~16:00 |
| 8 | 9 休館日 | 10 成人読書会 13:00~15:00 | 11 親子で絵本を読む会 15:00~16:00 | 12 万葉集を読む会 14:00~16:00 | 13 出雲国風土記を読む会 13:00~15:00 | 14 子供読書会 |
| 15 | 16 休館日 | 17 | 18 親子で絵本を読む会 15:00~16:00 | 19 | 20 | 21 古文書を読む会(中世) 13:30~15:30 |
| 22 | 23 (車両検査) 休館日 | 24 | 25 親子で絵本を読む会 15:00~16:00 | 26 | 27 | 28 |

○館内資料展示…「車に関する資料展」

※各種講座は講師の方の都合により変更する場合もあります。

編集発行 島根県立図書館 松江市内中原町52 TEL 0852-22-5725

発行日 平成4年9月20日

FAX 0852-22-5728